

里山文化に触れる 国際現代芸術祭 中之条ビエンナーレ 2023

[三ツ星美食デリシュラン] Cafe&Shop 60 (ロクゼロ)

和のこころ どうぶつ大好き [Deli-J調査団] 群馬県の気象観測 趣味と学び [私のセカンドライフ] 米田優さん(南牧村)

> 展示会場:旧五反田学校 (伊参エリア) 玉 現文 5

-table of contents-

■読者プレゼント

■表紙「塩こうじハーブチキンとラタトゥイユのごはんプレート」

中之条ビエンナーレ 2023 [

■巻頭特集「里山文化に触れる国際現代芸術祭

■デリシュラン「Cafe&Shop 60(ロクゼロ)」

■私のセカンドライフ「米田優さん(南牧村)」

■ Deli-J 調査団「群馬県の気象観測」





湯治場の沢渡温泉、歌人・若

山牧水が愛した暮坂峠のエリア

作品誕生の背景にある土地の魅力を探る

中之条ビエンナーレ2023は「中之条市街地」「伊参」「四万温泉」「沢渡暮坂」「六合」の5つのエリア、 44会場にて開催。土地の魅力を楽しみながら、この場所だからこそ生まれた作品をじっくり鑑賞しよう。

四万温泉

Shima Onsen

沢渡暮坂

Sawatari Kuresaka

伊参

青い四万川と、古き良き温泉

霊山嵩山や木造校舎などがあ

中之条駅から商店街、「つむ

じ」などを含む活気あるエリア

り、里山の景観が残るエリア

街の雰囲気が人気のエリア

中之条市街地

パスポート 1500 円、高校生以下鑑賞無料 会 場 中之条町内各所 ※会期中には町内外に取扱所を設置予定 ※1 人 1 枚必要。会期中は何度でも全会場を鑑賞可能 問い合わせ 中之条ビエンナーレ実行委員会事務局(イサマムラ内) 中之条町五反田 3534-4 内容 温泉街や木造校舎など町内各所で多彩なアート作品の

TEL.0279-75-3320(平日10:00~17:00) 展示、演劇、パフォーマンス、マルシェなどを開催

養蚕が栄えた集落で、伝統的

六合

建造物が多く残るエリア

1.作品が体育館全面を覆いつくす 2.体育館入り口からのぞくいくらさ

んの世界観に胸が躍る 3.湯桶に分けた絵具をキャリーワゴンで運ぶ

4.筆は手作りで、祖母の幼稚園で使っていたやかんも活用 5. 「制作

ライブペイント with Ryu Matsuyama Solo 9月16日(土) 18:00~19:00 旧第三小学校体育館

2,000円 (小学生1,000円、未就学児無料) 【申し込み・詳細】https://marieikura.stores.jp

が楽しい」と語るいくらさん

買い物と食も充実

会期中は公式オリジナルグッズのほか、

参加アーティストや公募したアーティスト のグッズを販売。作品は一点ものが多く 手に入りにくいものばかりなので、気に

なったら迷わずゲットしよう。今回はキッ

チンカーなどを集めたマルシェも毎日開 催。ランチや休憩に利用して。詳細は公

ショップ会場 つむじホール

式ホームページで確認を。

mail: office@nakanojo-biennale.com

[HELLO] いくらまりえさん

滞在制作中のアーティスト訪問(2)

出身地:神奈川県

活動地:東京都、神奈川県ほか

四万エリア/旧第三小学校(体育館) 躍するいくらさんだが、過全体を描き続ける個展で活 な懐かしさが残る。 らまりえさんの展示会場 進んだ突き当りにある体 校舎入り口から左手に

原点となった幼稚園を経営 もだったといい、「あの頃場で山作りに没頭する子ど ていく。会期中にライブペ上に柄の長い筆で色を広げ のままに、『生ききること』 場遊びのエネルギーをそなり悲しみに暮れたが「砂 気な笑顔を見せる。自身の のすごさを作品にしたい」 していた祖母が昨年亡く いくらさんは幼稚園の砂 体育館全面を覆う布の



イサマムラのロビーに展示された作

品の前に立つ山重さん。着用してい

るTシャツも自らがデザインしたもの



廣盛酒造) 4. 嘉春佳 「時層を綴る」(伊参スタジオ) 5.6. 福島陽子 「The Sun」(伊勢町民家) 7. 山形敦子 「山の風景 Mountain Landscape」(イサマムラ) 8.10. 大野光一 「遠くで星

見て、感じて、想像して、形にして、伝える。

気軽に立ち寄れる

・レならで

「コスモグラフィア - 見えない土地を辿る- |

が燃える」(旧廣盛酒造) 9. 藤森哲「後来史 興亡学」(旧廣盛酒造) 11.12. 松永直「山のある生活」(旧廣盛酒造)

かにも注目 5.掛け軸のよ うに飾られる今回の図面

滞在制作中のアーティスト訪問(1) 「しつらい」 TETTA(杉本聡子)さん

テッタ (Satoko Sugimoto)

うめまつ

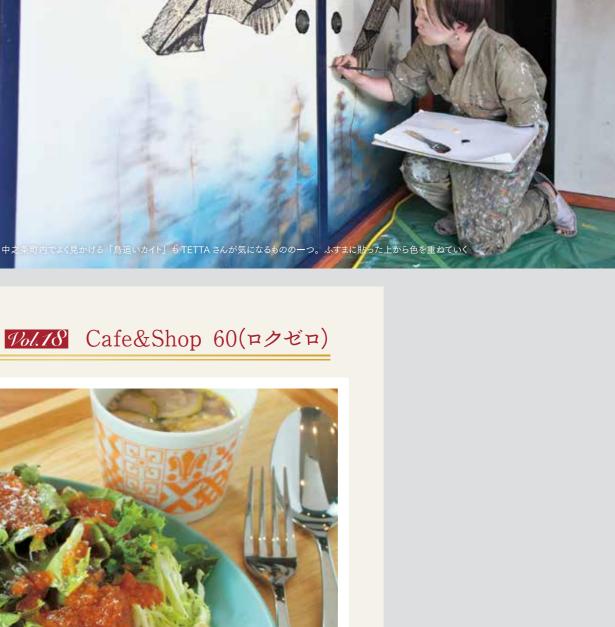
出身地:神奈川県

活動地:神奈川県ほか

見知らぬ土地に身を置き

伊参エリア/やませ (書院) 高い会場の一つだ。 財で普段は非公開だが、会築約170年の県重要文化 える山頂の高さになる。空道を上り、目線は遠くに見 をテーマにした作品を構想 4回目となる今回はふすま んは、2017年から出展。 期中は中に入れる注目度の 材木問屋だった民家「やま やませ敷地内にある書院 てなしたといわれる。そこきさを作り変え、客人をもすまなどを立てて部屋の大 歴史や生活をくみ取ってほ見る人それぞれにこの町の のふすまや屏風を書院の広民から譲り受けた古い15枚 影、画像を加工、印刷し、て目に留まったものを撮 歴史や暮らし。町内を歩い に描かれているのは、町の に貼る。その上に色を塗り ふすまの穴を修復するよう から着想を得て、中之条町







わせると和食を味わっているような感覚に。ニンジンとタマネギの自 家製ドレッシングで野菜のおいしさを引き出したサラダも、たっぷりと 堪能できる。野菜スープは日替わりで、この日はカラーニンジンと夏野 菜のコンソメスープ。自家製シロップのドリンクや、手作りスイーツなど カフェメニューも充実している。 住高崎市上大類町1164-1 週末ほかモーニング実施日は8:30~ 休 火曜、ほか週1日(インスタグラムで確認を)

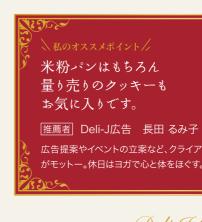
「自分と人と地球に優しくなれるきっかけを」がコンセプトの店で楽

しめるプレート。山梨県から取り寄せる米粉食パンはきめが細かく、

トーストすると耳はカリッと、中はもっちりとした食感だ。米の甘味を

感じられ、ショウガとニンニクが利いた鶏むね肉の「和風チキン」と合

HP https://www.instagram.com/cafe_and _shop_60/ 23:Deli-J·東毛





作りの焼き菓子などを量り売り。容器

を持参しよう。オーガニックのチルド食

品など手軽で体に優しい商品も販売 ナチュラルな雰囲気で1人でも立ち寄

りやすい。今年1月にオープン

3 わんちゃん連れOKのテラス席も







本誌掲載の記事・写真・地図等のデータについて無断転載・複製を禁じます。

掲載の店舗や施設等の情報は、都合により変更となる場合があります。事前にご確認の上、ご利用ください。 広告掲載のお問い合わせは、月刊デリジェイ 027-280-5015 (FAX027-212-3412) まで。

Deli²J 2023. 9月号

37:Deli-J